

## アナフィラキシー模擬練習 簡易板

アナフィラキシーとエピペンの研修会において実施する、教職員による模擬練習の簡単なシナリオを作成しました。スムーズに模擬練習を実施できるようにするための提案です。台詞を作ると覚えることに気をとられるので、アドリブがよいですね。子ども役の様子と担任や管理職との会話を軸にして、養護教諭や管理職が観察内容の提案をします。皆はその様子を観察しながら、何とすると良いかを考えながら行動するとよいです。観察内容や確認や指示を声で発して情報を共有し、受ける側の人にも声に出して確認しましょう。人数が集まれば、同時に記録をすることも大切です。

平成 26 年 6 月 1 日 八千代病院 小児科 増田 進

### キャスト

### 担当職種

- ・ アナフィラキシー症状の子ども役 : 教員、保育士
- ・ 子どもに寄り添い、様子を観察 : 担任
- ・ 全体をまとめる、観察、指示を出す : 管理職
- ・ アナフィラキシー対応の薬品と備品、  
マニュアルや記録用紙の準備、様子を観察 : 養護教諭、保育士、看護師  
アナフィラキシー対応内容の記録
- ・ エピペン注射担当 : 教員、保育士、養護教諭、看護師
- ・ 他の子ども達の応対、救急隊誘導 : 教員、保育士
- ・ 保護者や救急隊 : 教員、保育士

### 模擬練習内容 ( \_\_\_\_\_ は症状を示す)

**発症** 昼食直後に発症。顔面の赤みとかゆみ、咳あり。(後で誤食ありと判明する)

**初動・連絡** 担任が発見し、施設内職員に内線で連絡する。全職員には校内(園内)放送を活用。  
担任は子どもの様子を聞く、咳があるので移動しない。

**招集・準備・役割分担** 管理職、準備担当、エピペン担当が集合、薬や道具の確認、役割分担確認。

**観察・対応** 子どもの様子を聞く、観察する、複数で確認する。内服を検討する。

**記録・連絡** 様子と対応内応を時刻と共に記録する。

担任は子どもにずっと付き添う(子どもの不安のため)、連絡は担任以外の教職員が行う。  
管理職または職員が保護者に連絡する。(困ったら、主治医に相談する)  
連絡中質問に答えられるように、その場で連絡をする。携帯電話の活用。

**判断** 呼吸困難が強くなる。複数で症状の確認し、エピペンの適応を判断して、注射を指示する。

**注射** 注射担当者は注射の指示が出るまでマニュアル等で注射方法の確認と練習をする。

子どもの固定を確認し、「今から打つよ、じっとしててね」と声を発して、注射する。

**連絡・観察・記録** エピペン注射直後に救急隊要請と保護者に連絡する。子どもの様子を観察。  
様子と対応内応を時刻と共に記録する。記録することで次の情報伝達が確実にになります。  
注射 3 分後に呼吸は楽になる。

**救急搬送** 救急隊到着時、誘導する。状況を説明する。情報を伝達する。担任等が救急車に同乗し、子どもを搬送する。

◎キャストの構成や担当者は各教育施設で検討して、皆で繰り返し行うことで、各施設に合った、より良い模擬練習の内容を作ってください。